



## 11月の管理（イグサ）

～植え付けは適期に！！～

イグサの植え付けが本格的にスタートします。

適正な植え付けに心がけましょう。

### ◇ 乾田風化に心がける ◇

空気に十分触れさせ、風化させることで土壤還元が低減されます。

乾田状態で2～3回は耕起風乾し、代かきまでの期間を出来るだけ長くとりましょう。

また、稲ワラなどの残渣が多い場合は、**分解促進剤の使用**も検討しましょう。

### ◇ 団粒構造に意識する ◇

過度の代かきは、団粒構造を壊し、通気性・透水性が失われます。

その影響により土壤還元などによるイグサの根腐れ・断根を引き起こしますので、代かきは軽く、均平作業は丁寧に行いましょう。

### ◇ 保管状態に気を配る ◇

新芽を傷めないように掘り取り、弱小株などの不良株は使用せず取り除きましょう。

また、苗の長期保管は活力が低下しますので、長期保管をさけて、乾燥やムレなど保管状態には十分に注意しましょう。

### ◇ 活着促進に努める ◇

植え付け後、そのまま落水管理を行なうと、活着にバラツキが生じて初期生育は良くありません。

活着するまでは湛水管理を行いましょう。 ☺



☺ また寒波が襲来する場合は、深水管理による保温対策を行ないましょう。

### ◇ 品種特性を生かす ◇

熊本県の優良品種は「夕風」「ひのみどり」「ひのはるか」とありますが、品種の特性を十分理解して、品種に合った植え付けを行いましょう。

### ○ 品種特性と栽培体系

刈り取り	品種	特 徴
早刈り ↑	夕風	茎 長:『ひのみどり』より長い(『岡山3号』並) 茎 数:『岡山3号』より多い 茎 色:『ひのみどり』より濃い その他:茎が硬く、耐摩耗性が高い 着花が多いため、早い時期の先刈りは不利 寒さに弱いため、11月中旬植え付けが適する
普通刈り	7/5 ひのみどり 7/15	茎 長:他の2品種よりやや短い 茎 数:茎が細いため、見かけ以上に茎数は多い 茎 色:在来品種より濃い(他の2品種よりやや薄め) その他:極度のストレスに弱い 刈り取りが早いと充実不足となる 逆に、遅いと先枯れが多くなる
遅刈り ↓	ひのはるか	茎 長:長い 茎 数:生育後期に急激に増加する後期分けつ型 茎 色:『ひのみどり』より濃い その他:茎は他の品種より軟らかいため、肥料のやり過ぎに注意

## ストップ! 農作業事故

## はしご・脚立・高所作業の安全

人間工学専門家・石川文武

乾燥機の点検、家畜用の飼料管理、果樹の収穫・樹形改善など地上数mの高さで作業をすることがあります。そして、何らかの原因で転落する事故が多発しています。防止策を考えましょう。

乾燥機では、頂部から内部の点検・清掃を行うことがあります。その際には付属のはしごを使いますが、はしごを掛ける空間が狭かったりすると、頂部のフックが乾燥機に引っ掛からない場合があります。乗り降りや作業に伴う揺れでフックが外れたり、脚部が滑って転落する事故が多発しています。乾燥機を設置するときからはしごを利用する場合の空間を確保しておきましょう。そして、フックが必ず掛かっていることを確認しましょう。当然ながらヘルメットを使いましょう。

家畜の飼料として使う干し草は畜舎の2階などに収納する場合があります。そこへの収納や給餌のための取り下ろして床を踏み抜いたり、下へ転落したりします。

高所作業については労働安全衛生規則で細かい取り決めがあります。農業といえどもそれを守らねばなりません。

ん。作業に若干の支障はあるかもしれませんが、命綱（安全帯）を使ったり、転落防止の柵を設置したりしましょう。

果樹園などでは脚立をよく使います。安全作業の基本は、開き止めを必ず使う、天板には乗らない、設置したときに脚部が安定していることを確認する、伸ばしてはしごのように使うときはストッパーを必ず使う、木の高さに応じて複数の脚立を使う、変形した脚立は使わない、などです。

また、高所作業台車を利用するときは、全体のバランスを確認しながら立ち位置を決める、台を上げたままの移動はしない、許容量以上の荷を載せない、などです。

小さな油断が大きな後悔となります。念には念を入れて安全を確保しましょう。



蠍座  
10/24～11/22

♥全体運♥アクティブムード全開!

何かをスタートさせるのに向いています。  
やりたいことに思い切りトライしましょう

♥健康運♥軽い運動が体調を上向かせるポイントに  
♥幸運を呼ぶ食べ物♥ ユリ根